

かながわプラごみゼロ宣言

海洋汚染が今、世界規模で大きな社会問題となっています。また、プラスチックごみが小さく砕けてできたマイクロプラスチックが、世界中の海で確認されています。こうしたことから、世界中に展開している飲食店でプラスチック製ストローを廃止する動きが広まっています。そんな状況の中、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。

SDGs 未来都市である神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題から、SDGs 推進に取り組みます。プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止・回収などの取組を神奈川から広げていくことで、SDGs 達成に向け、2030年までのできるだけ早期に捨てられるプラごみゼロを目指します。

神奈川県知事 黒岩 祐治



SDGs

私たち一人ひとりの
行動が、
未来につながる。

SDGs未来都市 神奈川県

SDGsの推進に向け

かながわプラごみ ゼロ宣言



～クジラからのメッセージ～

2018年夏、鎌倉市由比が浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。

神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、

持続可能な社会を目指すSDGsの具体的な取組として、

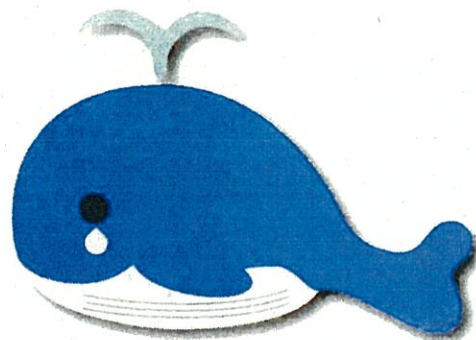
深刻化する海洋汚染、特に

マイクロプラスチック問題に取り組めます。

2030年までのできるだけ早期に、

リサイクルされない、

廃棄される**プラごみゼロ**を目指します。



プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止や回収に、
皆様のご理解、ご協力をお願いします。



プラごみに関すること
SDGsに関すること

神奈川県 環境農政局 環境部 資源循環推進課
神奈川県 政策局 政策部 総合政策課

電話 045-210-4147(直通)
電話 045-285-0908(直通)



神奈川県
SDGs 未来都市

かながわプラごみ ゼロ宣言

1

コンビニエンスストア・スーパーマーケット・レストラン等と連携し、プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止や回収などの取組を進めていきます。

2

県内で行われる環境イベント等において、プラスチック製ストローの利用廃止や回収などを呼びかけていきます。

3

海岸利用者に対して、海洋汚染の原因となるプラごみの持ち帰りを呼びかけていきます。

持続可能な開発目標 (SDGs エス・ディー・ジーズ)

持続可能な開発目標 (SDGs エス・ディー・ジーズ) とは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

Kanagawa committed to SDGs 「かながわプラごみゼロ宣言」及び本県のSDGsの取組みなどは、神奈川県ホームページをご覧ください。



平成30年10月1日
環境部次長 植地
電話 0467-23-3000 (代表)
内線 2613

かまくらプラごみゼロ宣言

鎌倉市は、環境負荷の少ない「循環型社会」を形成するため、市民、事業者、行政が連携・協働して3Rを推進して「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指しております。

平成30年9月4日に「かながわプラごみゼロ宣言」がなされましたが、鎌倉市においても「かまくらプラごみゼロ宣言」を行い、神奈川県と連携、協調を図りながらこれまで実施してきたレジ袋の利用廃止・回収などを一層推進するとともにプラスチック製ストローの利用廃止を求めていくことにより、ゼロ・ウェイストの実現さらにはSDGsの目標を達成できるよう取り組みを進めてまいります。

1 これまでの取り組みの強化

(1) 市民や事業者等に対する取り組み

① ライフスタイルの見直しに向けた啓発

マイバック、マイボトル、マイ箸を使用し使い捨て製品の使用を控えるなどの啓発を引き続き実施し更に徹底します。

・自治・町内会説明(平成29年度56回)、鎌倉ごみ減量通信等においてマイバック、マイボトル等の啓発

② 生産、流通、販売工程における使い捨て物品の削減

工場における容器包装の減容化、販売工程におけるレジ袋の削減等の啓発を引き続き実施し更に徹底します。

・分別徹底等事業者訪問の際にレジ袋等の削減について要請
(平成29年度 個別訪問561社)

③ 3Rに貢献している事業者等の地域での取り組みPR

・ごみの減量資源化に取り組む(マイバックの推進やレジ袋有料化など)の市内事業者を「エコショップ」として認定し公表しています。

④ リユース(再使用)の推進

・お祭りやイベント時のリユース食器の補助制度を更に推進します。

⑤ 滞在者に対する協力の呼びかけ

・観光旅行者等に対するマイバックの使用やごみの持ち帰りなどチラシ等による情報発信を行ってまいります。

(2) 鎌倉市役所の取り組み

① 職員のマイバック、マイボトルの使用を徹底します。

② ペットボトル飲料の会議等での使用制限を徹底します。

2 今後の取り組み

新たな取り組みとしてプラスチック製ストローの利用廃止や市役所の自販機でのペットボトル飲料の販売を極力廃止するなど、神奈川県と歩調を合わせながら新たな取り組みを検討し実施してまいります。

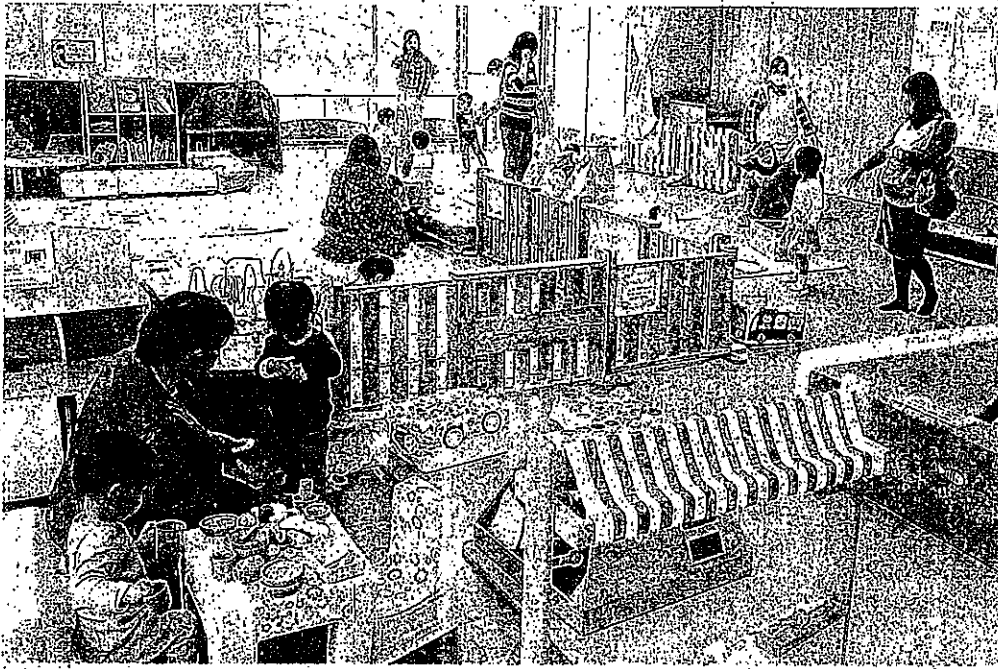
医療費 小学生も月200円

亀岡市方針 来年度中にも助成拡大

亀岡市の桂川孝裕市長は19日の定例会見で、子どもの通院医療費助成について、小学校就学前まで1医療機関当たり月額負担200円とする現行制度を、来年度中にも小学生まで拡大する方針を明らかにした。

現行の小学生の月額負担は上限3千円（複数医療機関の合算も可）。昨年9月、高校1年生以下で3人以上の子がいる世帯は中学生まで月額負担200円にしている。市によると、6年生まで月額負担200円にすれば、対象者が約2800人増え、新たな財源が7500万円必要になる。府は来年度、子ども医療費助成に対する市町村への支援を拡充する方向で、桂川市長は「府の状況を見て決めるが、できれば6年生まで引き上げたい。厳しい財政状況だが、メリハリをつけた予算を編成する」と述べた。（藤松泰美）

亀岡市の子ども通院医療費助成 府内2番目の低水準



子ども医療費助成制度で、他市町村に比べ、自己負担が重い
(亀岡市余部町・市子育て支援センター)

子育て世代の負担重く

子どもの通院医療費を助成する亀岡市の制度が、府内26市町村のうち3番目に低い給付水準にとどまっている。京都市に次いで保護者の負担は重く、近隣の南丹市と京丹波町に大きく後れをとる。亀岡市は「選ばれるまち」を掲げ、子育て世代の移住を呼び掛けながら、支援の内幕は伴っていない。(竹下大輔、藤松奈美)

亀岡市と近隣市町の通院医療費助成 負担額(月額)

亀岡市	就学前まで200円、小学～中学生※3000円
南丹市	中学生まで200円、高校生800円
京丹波町	高校生まで200円
河内市	小学生まで200円、中学生3000円
京丹波町	小学生まで200円、中学生3000円
京都市	3歳未満200円、3歳～中学生3000円

※3人以上の子のいる世帯は200円

「近隣市町の支援策がこんなに手厚いとは知らなかった」。育ち盛りの小学生4年と6年の子どもがいる亀岡市内の女性(44)はうらやむ。6年前に京都市から移住してきた。「亀岡市の支援策が充実していると感じたことはない。低学年の時は熱が出やすく、医療費が多くな

近隣市町、定住促進へ次々拡充

かった。今は少々具合が悪くても病院に行かずに様子を見て過ごす」と話す。

亀岡市の通院医療費は月額負担で見ると、小学校就学前が1医療機関200円、小中学生は上限3千円(複数の医療機関の合算も可)。昨年9月、高校生以下の子が3人以上いる世帯に限り、小中学生200円に軽減した。それでも子ども2人以下の世帯負担はワースト2が続く。

近年、定住促進のため、拡充する自治体が増えているからだ。南丹市は昨年4月、800円だった小中高校生の月額負担を、小中学生に限り200円に軽減。出産時の「子宝祝金」は4月以降、1人一律5万円から、第2子10万円、第3子以降20万円に増額した。入学祝金(小学校3万円、中学校4万円)などの独自制度も充実し、南丹市は亀岡市を意識しているのか、「JRR亀岡から八木まで10分かかる。少し足を伸ばせば、子育てに優しい街がある」とアピールする。

京丹波町も3年前、中学生まで月額負担200円だった制度を高校生まで拡大した。出産時の「すこやか祝金」(1人5万20万円)もある。両市町は地理的に不利な条件を、子育て支援で補おうとしている。

近隣市町が次々と拡充する支援制度に、亀岡市は「移住者が他地域に奪われるかもしれない」と危機感を強める一方で、「財政負担を理由に大幅な拡充は見送った。試算によると、小学生まで200円にする年間7500万円、中学生まで200円にすれば同9200万円が新たに財源として必要となる。

ただし、南丹市、京丹波町に比べて市財政が極端に悪いわけではない。府が建設を進める「京都スタジアム(仮称)」に、市は用地取得費計約33億円を支出した。保護者には「なぜ子育て支援に充てる予算がないのか」との疑問の声も上がっている。亀岡市は2002年から人口減少が続く。人口は9万人を切ってしまった。このままの現状が続けば、「選ばれるまち」のアピールは、掛け声倒れに終わる。

各市町村の子育て支援医療助成制度



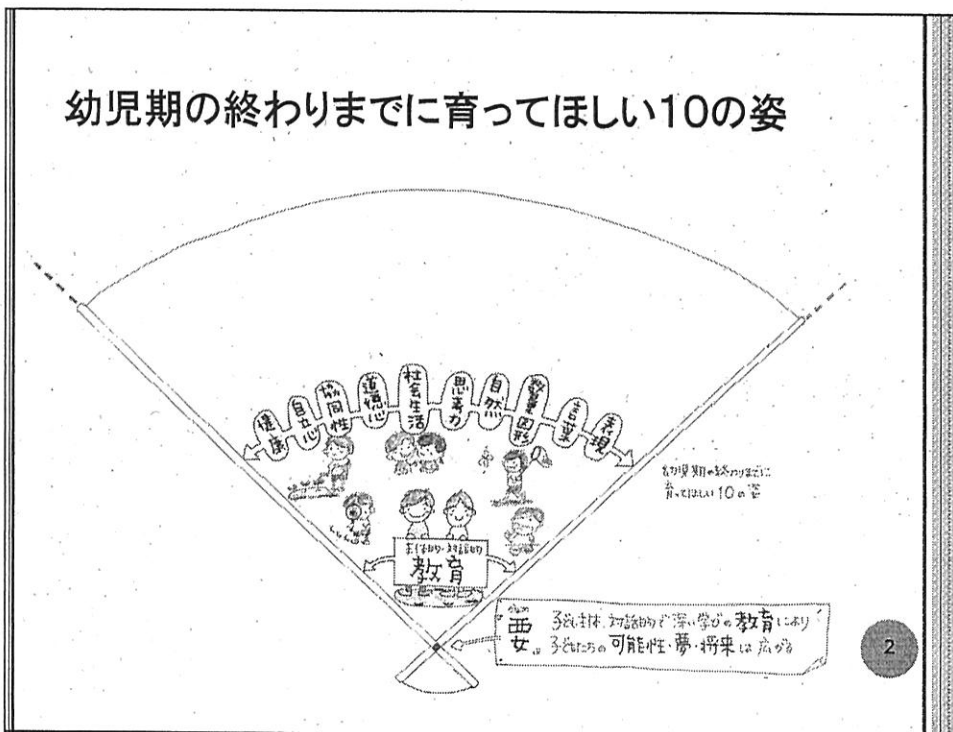
府制度を上回る部分(対象年齢、自己負担額)

市町村名	入院					通院					受給者証交付者数 (0~15歳) 平成29年12月末現在	
	0~2歳	就学前 (3~6歳)	小学生 (7~12歳)	中学生 (13~15歳)	高校生 (16~18歳)	0~2歳	就学前 (3~6歳)	小学生 (7~12歳)	中学生 (13~15歳)	高校生 (16~18歳)		
京都府	現物給付(200円)					現物給付(200円)	償還(月3,000円超)				298,444	
京都市	現物給付(200円)					現物給付(200円)	現物給付(1年度内毎月3,000円。複数年度連続の場合は償還(月3,000円超))				154,138	
福知山市	現物給付(200円)					現物給付(200円)	現物給付(500円/日)・償還(月3,000円超)				10,312	
舞鶴市	現物給付(200円)					現物給付(200円)・償還(3,000円)					10,355	
綾部市	現物給付(200円)					現物給付(200円)					3,536	
宇治市	現物給付(200円)					現物給付(200円)					23,182	
宮津市	現物給付(200円)					現物給付(200円)					1,662	
亀岡市	現物給付(200円)					現物給付(200円)	現物給付(3,000円)/多子世帯(200円)				11,009	
城陽市	現物給付(200円)					現物給付(200円)					8,645	
向日市	現物給付(200円)					現物給付(200円)・償還(3,000円)					7,698	
長岡京市	現物給付(200円)					現物給付(200円)・償還(3,000円)					11,267	
八幡市	現物給付(200円)					現物給付(200円)					8,263	
京田辺市	現物給付(200円)					現物給付(200円)					10,766	
京丹後市	現物給付(200円)					償還(200円)	現物給付(200円)				償還(200円)	6,103
南丹市	現物給付(200円)					償還(300円)	現物給付(200円)				償還(300円)	3,352
木津川市	現物給付(200円)					現物給付(200円)					12,600	
大山崎町	現物給付(200円)					現物給付(200円)・償還(3,000円)					2,196	
久御山町	現物給付(200円)					償還(200円)	現物給付(200円)				1,883	
井手町	現物給付(無料)					現物給付(無料)					693	
宇治田原町	現物給付(200円)					現物給付(200円)					1,042	
笠置町	現物給付(200円)					現物給付(200円)					55	
和束町	現物給付(無料)					現物給付(無料)					309	
精華町	現物給付(200円)					現物給付(200円)					5,470	
南山城村	現物給付(無料)					現物給付(無料)					178	
京丹波町	現物給付(200円)					償還(200円)	現物給付(200円)				償還(200円)	1,226
伊根町	現物給付(無料)					償還(無料)	現物給付(無料)				償還(無料)	162
与謝野町	現物給付(200円)					現物給付(200円)					2,342	

オープン会議 次第

日 時 平成30年11月27日(火)
午後8時00分～
場 所 東本梅町ふれあいセンター

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 自然保育について
- 4 意見交換
- 5 閉会



乳幼児期の保育・教育の基本

- 友だちや保育者との関わり
⇒ 信頼・安心の基盤、協力、人間関係の
基盤を築く



合同保育

- 遊びを通して、主体的に環境に関わる
⇒ 豊かな感性、好奇心、探究心を培う



自然保育

3

自然保育の意義・目的

原体験から『生きる力』を育む

自然の大きさ、美しさ、不思議さに直接触れる体験を通して、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力などを培い、困難に負けずに幸せな人生を歩むための土台を作る。

4

他府県での事例

- 長野県「信州型自然保育」
- 広島県「ひろしま自然保育」
- 鳥取県「とっとり森・里山等自然保育」など

亀岡でも…

亀岡の豊かな自然を強みとして
特色ある保育を実施

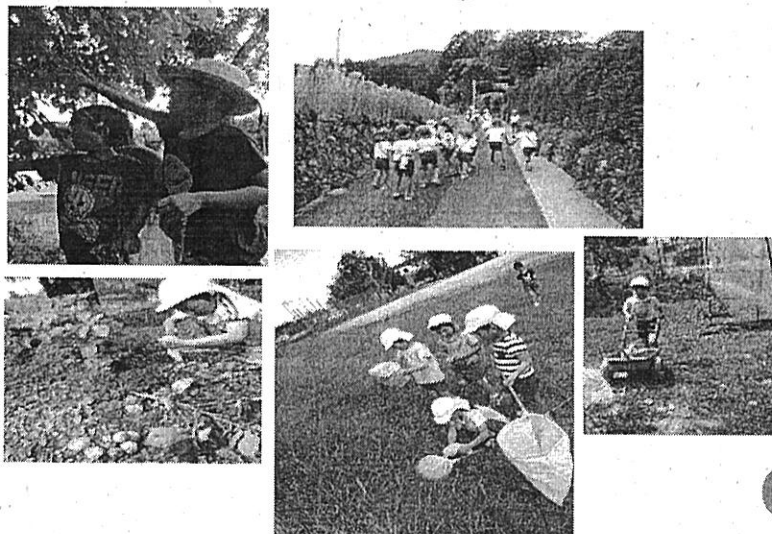
5

長野県安曇野市の事例



6

東本梅保育所での自然保育①



7

東本梅保育所での自然保育②

これまで

豊かな自然環境を生かした保育をすでに実施
(周辺を散歩、菜園活動、身近な生き物観察など)



31年度

位置づけを明確にし(活動計画)地域資源を
生かした自然保育の充実を図る

「亀岡型自然保育」のモデルとして実施

8

自然保育の活動基準(亀岡モデル)

活動計画	指導計画に自然体験活動に関する事項を入れ、計画的に実施
活動時間	各年齢ごとに週5～10時間程度を設定 (3歳児以上を対象)
活動内容	屋内・屋外に関わらず、自然の素材や要素を活用して行う各種活動

9

自然体験活動の例

- 里山、水辺、田畑での遊び
 - ⇒ ハイキング、沢遊び、泥遊び、木登りなど
- 園庭で生き物観察
 - ⇒ 遊び場づくり、カブトムシ、カエル飼育
- 農業体験・クッキング
 - ⇒ 園庭で畑づくり、田植え体験など
- 周辺地域を探検・発見
 - ⇒ 地域散策、生き物・自然を発見、MAPづくり

年齢に応じた活動を設定

10

自然保育の実施にあたって

- 自然体験活動アドバイザーの配置
 - ⇒ 地域の自然環境を観察・発見・体験する
- 遊び場作り
 - ⇒ 子どもたちが自由に自然と関わっていける
遊び場作り（畑、ビオトープ）
- フィールドの確保
 - ⇒ 地域の協力が不可欠
- 自然保育の情報発信
 - ⇒ 活動基準の明確化、HPでの発信など

11

魅力ある保育所になるために・・・

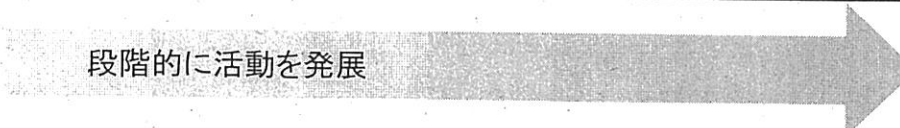





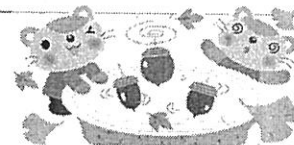


地域・保護者の協力

- ・ フィールドの提供
(田畑、森、山、木、畔道 etc.)
- ・ 人的協力（見守りボランティア、子どもたちに豊富な知識経験を教えてくれる人 etc.）
- ・ 遊び場作りの協力
- ・ 資材の提供
(遊びに使いそうな廃材、道具 etc.)
- ・ 情報発信

12

東本梅保育所の自然保育プログラム（案）

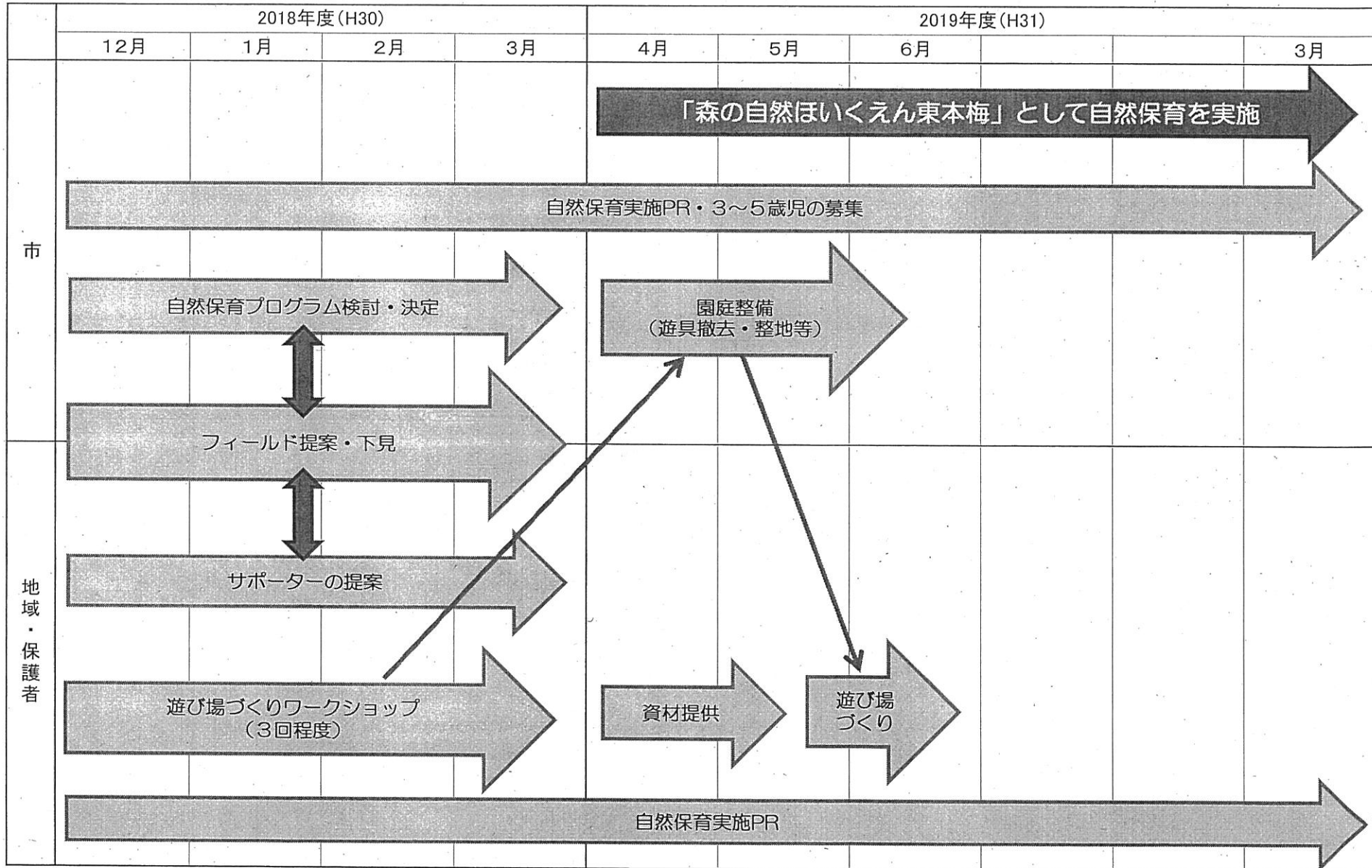
	3歳児	4歳児	5歳児
主なテーマ・プログラム	段階的に活動を発展 		
自分で作った野菜・お米でクッキング！	畑でやさいづくり～玉ねぎ・じゃがいも・夏野菜・大根etc.～ 		お米作り体験 ～田植えからごはんができるまで～
	みんなでクッキング（芋ぜんざい・大根炊き・カレーライス）～洗う・剥く・切る・煮る～（年3・4回）		
自然の中で思い切り遊ぼう！ ～里山・水辺～	近くの山を探検！虫捕り・草花採集 ・小川で生き物探し 		
			・川で魚、ザリガニ捕り  ・半国山に登ってみよう・音羽川で水遊び 木登り体験 沢登り体験
生き物と触れ合う遊び場 ～ピオトープ～		ちょうちょうの木・カエル池で生き物観察 ～みかんの木植え・ピオトープづくり～	
		 カブトムシを育てよう！落ち葉でふかふかカブトムシのお部屋	大きな生き物との触れ合い(農芸高校)
お散歩でいろいろ発見！ ～生き物と友だち ・マップづくり～	お散歩で生き物みつけ！季節みつけ！ ～保育所周辺・浄光寺・藪田神社・大内神社・普済寺など～		
			発見したこと描いてみよう！ マップづくり

「森の自然ほいくえん～東本梅～」 四季を通じて五感で学ぶ・遊ぶ自然保育

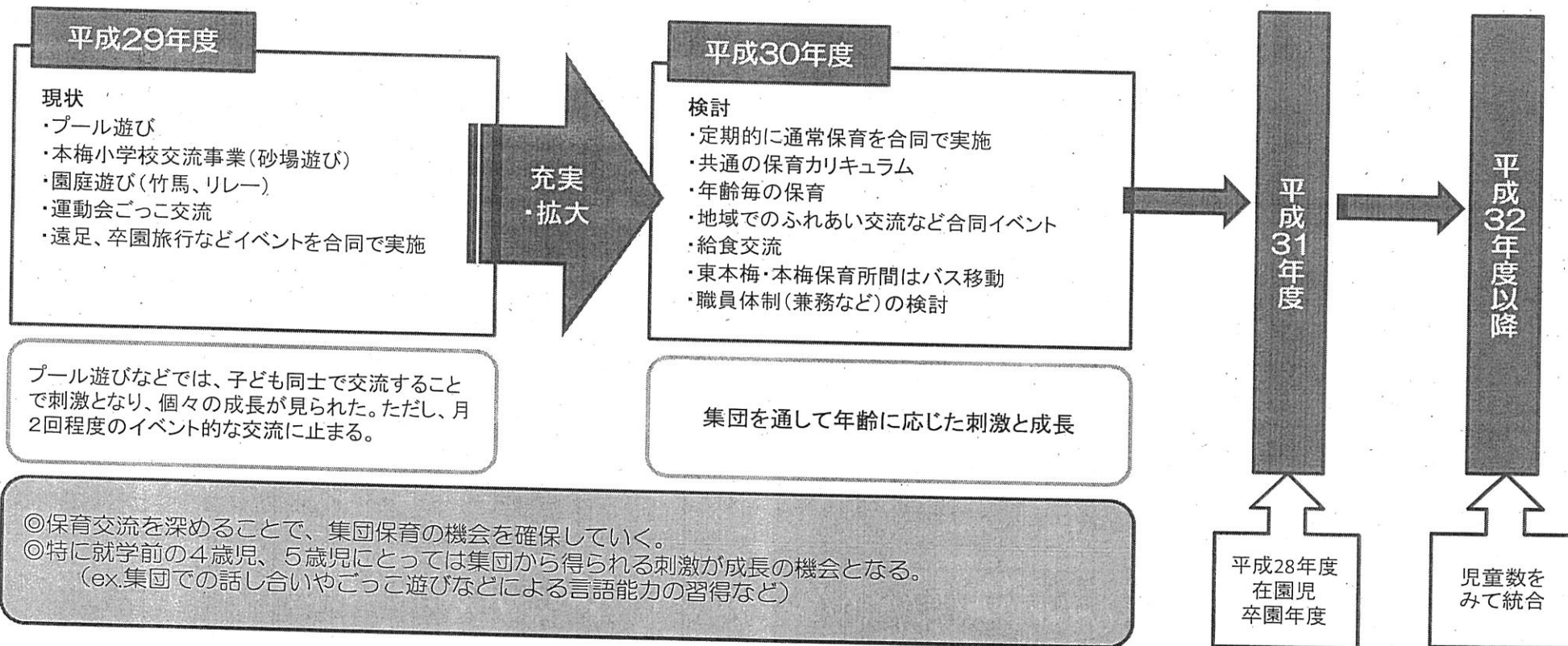
Program		春	夏	秋	冬					
生き物と友だちになろう・みんなの遊び場・わくわく自然体験	半国山(丹波富士)に登ろう	半国山に登ろう	山探検	半国山に登ろう	山探検					
	音羽川で沢登り体験		沢登り 水辺遊び							
	森あそび(木登り)	登れる木探し	木登り	紅葉を見る						
	雑木林で昆虫採集	春の虫	昆虫採集 秘密基地	秋の虫	冬の虫					
	大きな木(名木・奇木)めぐり	金輪寺のモミ	青野小ツクバネガシ 柿とり	太内のヒイラギ 栗拾い	大内神社の杉					
	農芸高校で牛さん見学	牛さん見学	家畜見学	牛さん見学	家畜見学					
	農芸高校のお兄さんお姉さんと花を植えよう ～フラワーキャラバン～	夏の花 (日々草、マリーゴールドなど)			春の花 (パンジー、ビオラなど)					
	本梅川でお魚とり	小川でメダカ探し 用水路	本梅川で魚とり もんどり	小川でメダカ探し	堤防で坂すべり					
	カブトムシの飼育観察	幼虫・蛹 命	成虫・産卵 環境	腐葉土 肥料	腐葉土 シイタケ					
	城山を探検しよう	城山探検 本梅城	宮川砦 木登り	城山探検 神前北山城	井内城 木登り					
	神社で宝物探し	大内神社 普濟寺	藪田神社 浄光寺	宮川神社 祭事	佐々尾神社 伝承					
	田んぼでどろんこ遊び	田植え お米づくり	草花遊び 案山子作り	稲刈り 稲木ブランコ	タコあげ あぜ道歩き					
	おさんぽ季節みつけ	白花タンポポ あぜ道	夏野菜 里道	どんぐり拾い 林道	落葉拾い 旧道					
	おさんぽ生き物みつけ	蝶 ツバメ	クワガタムシ カブトムシ	バッタ トンボ	バードウォチング					
	ビオトープづくり(カエル池)	カエル イモリ	ドジョウ ヤゴ	サワガニ メダカ	ザリガニ カワニナ					
	みんなでまちなか探検	浄化センター ニワトリ	工場 ブタ	店舗 農芸祭	学校 畑					
みんなで野菜づくり(虹の広場)	玉ねぎ・ジャガイモ 花	キュウリ・トマト・ピーマンなど スイカ	かめまる芋・さつま芋 花	白菜・大根 ネギ						
フィールド(施設)	園農園 (虹の広場)	半国山 城山 とこなげ山 里山	本梅川 音羽川 水路 ため池	金輪寺 大内神社 藪田神社 宮川神社	普濟寺 浄光寺 谷性寺 栗畑 柿畑 ネギ畑 田んぼ	森 林 竹林 堤防	民家 橋梁 店舗 記念碑	農芸高校 青野小学校 浄化センター 子ども村		
■原体験のキーワード	土	草・花・木	水	生き物	空・天候	人	地域	文化	自然	ふるさと

※自然体験活動アドバイザーと一緒に地域の自然環境を観察・発見・体験する。

今後のスケジュール(案)



東本梅保育所・本梅保育所の保育交流と統合の時期について



定住促進の取り組み(H29年度～H32年度)

統合時期の判断について

- ・平成28年度在園児が平成31年度に卒園
- ・平成32年度以降、4/1現在(広域入所除く)の児童数で、集団保育の継続を判断
- ・3歳児または4歳児のクラスが5人未満となった場合、もしくは在園児数が20人未満になった場合、翌年度に統合(早くて33年度の統合)
- ・ただし5年後(37年度)には、東本梅・本梅の両保育所の児童数の状況をもて判断
- ・上記の児童数の状況にかかわらず、施設の大規模修繕の必要性など、保育環境の維持が困難と判断した場合は統合